

日にあらたに



札幌市立日章中学校
学校便り 第 487 号
令和 7 年 7 月 8 日発行
TEL831-6196 FAX831-2754
<https://www.nissho-j.sapporo-c.ed.jp>

◇ 2 学年旅行的行事＜宿泊学習を振り返って＞

『 宿泊学習 』

2 年 1 組 代表生徒

僕はこの宿泊学習を通して色々なことを学びました。中でも、団体行動の難しさと、大切さを学べたことが一番の学びだと思いました。まず団体行動をする上で、大切なのは班員を引っ張っていく人と班員との信頼が大事だと思いました。その信頼がなければ、団結力が下がり、班員がついてきてくれなくなったり士気が下がって、それがやがて失敗につながっていくと考えました。現に班長への信頼がなく、失敗しているところもありました。なので、しっかりと仲間を頼り、信頼関係を良くすることが大事だと思いました。だからこそ僕は自分が完璧に仕事をこなせていると思わず班長として頼られ、ついてきてもらおうと思いました。

『 宿泊学習を終えて 』

2 年 2 組 代表生徒

私が宿泊学習で印象に残ったことは、植松電機で聞かせていただいた植松さんの話です。私が特に心に残ったのは、「違うはすてき」という言葉です。植松さんは「人は違うから助け合い、教え合うことができる」とお話しされていました。私はそれを聞いて、とても納得することができました。今までは他人に何か教えてもらうことを恥ずかしいと思っていましたが、人は皆違うのだから助け合った方がいい、と思えるようになりました。そのため「違うはすてき」という言葉は凄くいい言葉だなと、深く感じます。

『 宿泊学習を終えて 』

2 年 3 組 代表生徒

この宿泊学習で私は何事にも臨機応変に対応し、2 年生の重点行動目標を意識し、学校外でもマナーを守ることができました。反省点は調べ不足で予想外のことがあったり、点呼が遅くなってしまうことでした。なので、今後の課題はしっかりと時間を見て、自ら積極的に行動し、班員やクラスメイトともしっかりとコミュニケーションを取ることだと思いました。この宿泊学習での経験から良くできた点や課題を意識して生活していきたいです。



『 宿泊学習で学んだこと 』

2年4組 代表生徒

今回の宿泊学習では、時間の大切さを学びました。自由行動などの色々な場面で時間設定があり、集団行動なので少しのミスで全体が変わってしまうので、改めて時間の大切さを学びました。植松電機では現代社会ではよく考えてしまう「周りと違う」ことは悪いことではないということを教えてもらいました。自分も周りと比較したりしていたこともあったので学べてよかったと思いました。来年の修学旅行では今回学んだことを生かして時間を意識して行動できるようにしたいです。

『 宿泊学習で学んだこと 』

2年5組 代表生徒

私は宿泊学習を通して、たくさんのことを学ぶことができました。1つ目は、集団行動の大切さです。2つ目は、自分のことは自分ですするという、当たり前だけど大事なことです。3つ目は、友達と過ごす楽しさです。今回の宿泊学習で学んだことを、これからの生活でもいかしていきたいと思います。

『 宿泊学習の思い出 』

2年7組 代表生徒

1日目の旭川の自主研修が楽しかったです。行く予定だったラーメン屋の青葉と一蔵と天金が開いていなくて、駅ナカ食堂「なの花」に入ることができました。第4候補のお店でしたが、値段も安くて美味しかったです。旭川博物館では、歴史がたくさん学べました。レクも楽しかったです。ホテルは夕食と朝食が豪華で驚きました。2日目、植松電機でロケットを作ったことも思い出に残りました。



◇ 1 学年旅行的行事＜現地学習を振り返って＞

『 現地学習で学んだこと 』

1 年 1 組 代表生徒

博物館では昔の人が工夫して作った道具があったり、昔の人がどういう食べ物を食べていたのかどういう生き物がいるのかの展示がありました。開拓の村では、馬がたくさんの人を乗せて走っていたり、建物の中では建物の説明やマネキンが喋っていたりととてもわかりやすかったです。予定より見て回るのが早かったり、班員と協力できていなかったから普段の生活から少しずつ協力できるようにして、こういうときにすぐ行動できるように努力して、来年の宿泊学習で周りの人に迷惑をかけないように班で協力していつでも全力で楽しめるようにしたいです。

『現地学習で経験できたこと・学んだこと・考えたこと』

1 年 2 組 代表生徒

今回の現地学習では、小学校の時よりもレベルアップした、自分たちで班別研修の場所や時間を細かく決めて計画するということや、班でばらばらにならずにまとまって行動することの大変さを経験することができました。また、今回の現地学習では、現在の自分たちの暮らしに関わるものと昔の暮らしのものを比較して、当時の生活の様子や現在までの発展の様子について実際に見学しに行くことで授業で学習するよりも詳しく学ぶことができました。そして、何事もみんなで協力し合って計画したり、班でしっかりまとまり時間を守って行動することや、自分たちで仮説を立てて、その仮説を確かめるために自ら粘り強く知ろうとすることが大切だと思いました。

『 現地学習を終えて 』

1 年 3 組 代表生徒

今回の現地学習では北海道の開拓や生活の環境だけでなく、班やクラスごとでの学習の仕方についても改めて考え直すことができた。たとえば班で集まって行動することや周りのことを考えて行動することが大切だと思った。現地学習後に気がついたことだと、動く前に班員にどこへ行くのかを伝えてから行動するべきだったということ。それでも北海道博物館では班でまとまって動く事ができたとし、楽しんで学習することができた。自分の中では博物館で開拓の村でも「他のお客さんがいる中で学習している」という意識を持てたらより良い学習になったのではないかな。今回の現地学習はとても良い学びになった。これらを普段の生活に生かしていきたい。





『 現地学習で学んだこと 』

1 年 4 組 代表生徒

現地学習で行った、開拓の村や北海道博物館には、炭焼き小屋や養蚕板倉、消防組番屋など、今は無い仕事に関する資料が多くあった。展示されている資料から、昔は手作業の仕事が多く、使っている道具も今より簡単な作りの物が多いことがわかった。また、時代が変化するにつれ、使用している機械や道具も、材質が木から鉄に変化していたり、今ある機械に近い形状の物になっていた。このことから、時代が進むことで技術も進歩し、より高効率でたくさんの物を作ることが出来る機械や道具が増えていったと考えられる。

この現地学習を通し、時間を見つつ臨機応変に対応することや、わからないことは班の仲間に相談すること、しっかりと班で話し合って決めることなどを経験し、学ぶことが出来た。このことを、今後の学校生活でも活かしていきたい。

『 現地学習を振り返って 』

1 年 5 組 代表生徒

北海道は今まで色々な文化、伝統を残してきて今となっては使われてないものがたくさんあって、ここでしか経験できないものがありみんなとたくさん学べたし、班のみんなとの団結力とかも上がったと思うしはぐれたり迷子になったりしたらまずは近くを探したりして確認を取れたし、小学校のときとはまた違う経験をすることができたのがとても嬉しいです。昔から現代まで色々な技術のお陰で今があるんだということを学べました。もちろん色々な文化がないとこれほど文化が発展していないことがわかりました。現地学習では色々大変なことはありましたが、学校のみんなでこうやってたくさんの事を学べて嬉しいです。これからもっと色々なことを学べたら嬉しいです。

『 現地学習で学んだこと 』

1 年 7 組 代表生徒

僕の現地学習の思い出の1つ目は旧農商務省滝川種羊場機械庫で昔に使っていた大きな機械を見たことです。そこには初めて見る機械がたくさんあって興奮しました。2つ目は旧小樽新聞社で手フット印刷機を体験できたことです。小学生の時は時間がなく、出来なかったけど中学生になって出来て嬉しかったです。3つ目は北海道博物館でナウマンゾウの化石を見たことです。ナウマンゾウのあごが意外に分厚かったことと牙が内側に酔っていたことが気になりました。4つ目は第5テーマ生き物たちの北海道で幼虫のアメリカザリガニと鮭の卵を見たことです。幼虫とアメリカザリガニはかわいかったけど鮭は気持ち悪かったです。



◆「エアコン」の使用について◆

昨年度より、エアコン設置工事が行われています。参観日でもご覧になったように各教室には、エアコンが設置されております。今後は、エアコンの稼働に向けた電気工事等を行う予定となっております。「エアコン」の使用・稼働については令和8年度からとなっております。

今年度も窓エアコンと扇風機を使用して、学習を行います。引き続き、熱中症の対策につきまして、ご家庭のご協力をお願いします。水筒・ペットボトルなどの持参をよろしくお願いします。